

家を建てる人へのアドバイス ～庭の設け方(1)～

1 外構計画について

駐車スペースについては前回述べましたので、今回からは庭の設け方についてアドバイスします。庭には主庭、前庭、テラス、坪庭、サービスヤード(キッチンや勝手口のそばに設けられ、洗濯や物干し・ゴミの一時的な置き場、その他の屋外における家事をするところ)等があります。

2 庭の特徴について

休日は周囲の目を気にせず、日当たりのいい庭で、家庭菜園をしたり、子どもが汚れることを気にせず遊んだり、家族でバーベキューを楽しんだりしたいものです。それができるのが一戸建て住宅の魅力でもあります。

(1) 庭があるメリット

- 1) 敷地にスペースができることで、日当たりや風通しが良くなる。
- 2) ガーデニングや家庭菜園を楽しめる。
- 3) 子どもの遊び場になる
- 4) ホームパーティーやBBQができる。
- 5) ペットを放し飼いできる。

(2) 庭があるデメリット

- 1) 庭の手入れに手間がかかる。
- 2) 目隠しがないと外から見えやすい。
- 3) 土地が広い分高値になる。

3 庭の種類について

(1) 主庭(しゅてい)

主となる庭です。通常は敷地の南側にリビング等に面して配置されます。庭には鑑賞のための庭と実用性のある庭があります。庭に出てくつろぐプライベートな空間であるため、生垣や塀等を目隠しが必要な場合もあります。

(2) 前庭(まえにわ)

玄関まわりに配置された庭です。家のファサード(正面)を作る要素でもあり、門から玄関までのアプローチの雰囲気を作ります。

(3) サービスヤード

洗濯や物干し・ゴミの一時的な置き場、その他の屋外における家事をするところで、キッチンや勝手口のそばに設けられます。

(4) 中庭(なかにわ)

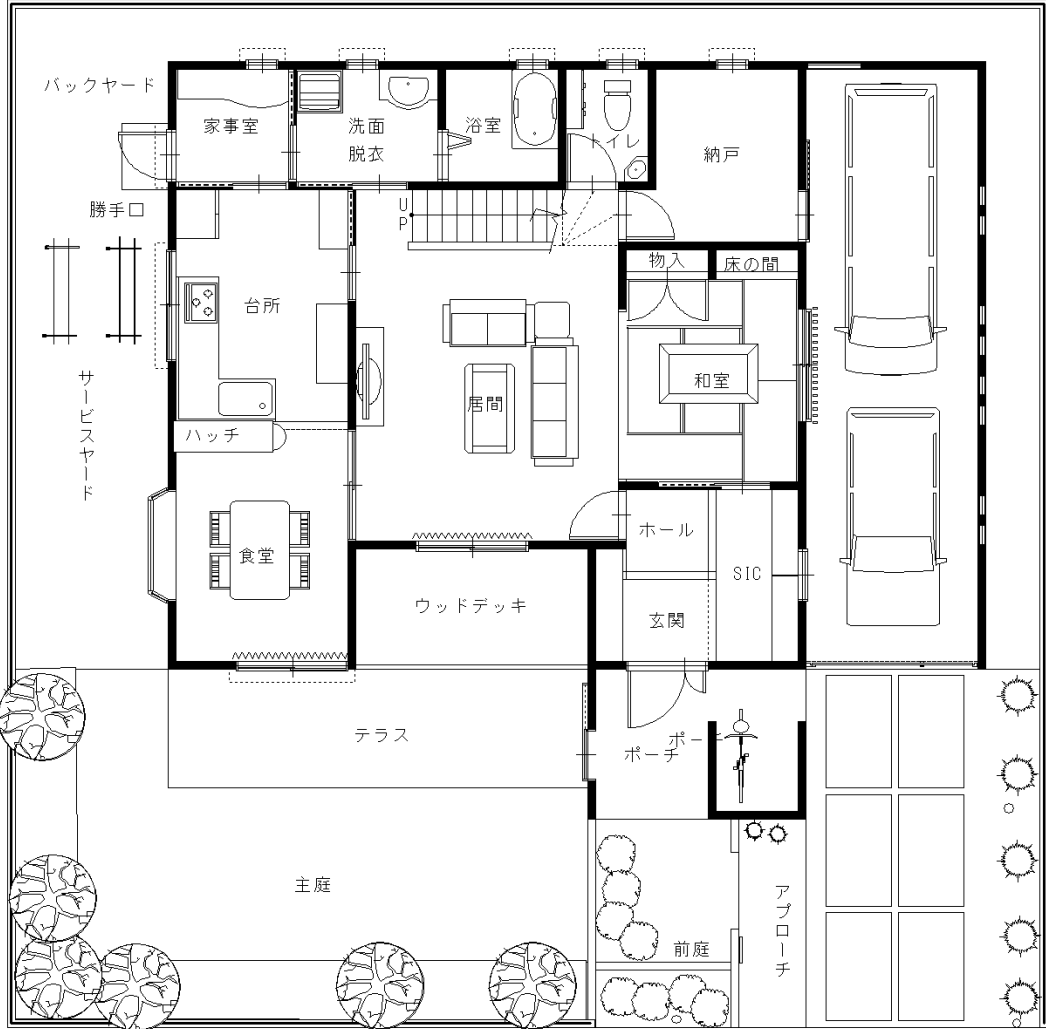
コの字型やロの字型の建物に囲まれた庭です。各部屋の採光と通風に有利になります。

(5) 裏庭(うらにわ)

家の裏側に位置するサブ的な庭でバックヤードともいいます。物置などに使われます。

(6) 坪庭(つばにわ)

建物の壁や塀に囲まれた小規模の庭です。住宅の浴室から眺めるために設けるバスコートや、採光や通風のための光庭(こうてい)等があります。



道路幅員：6 m

配置図兼1階平面図